

令和2年度（第5回）社会教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和3年2月12日（金） 13時55分～14時50分
 - 2 開催場所 青少年女性センター 大会議室
 - 3 出席委員 佐伯委員、熊谷委員、田上委員、後藤委員、徳田委員、鹿多委員、岡本委員、山尾委員（8名）
 - 4 欠席委員 川尻委員、西村委員、高瀬委員、山本委員、田中委員、和田委員
 - 5 出席職員 小南教育長、山本教育指導部長、杉本教育指導部次長、神吉教育指導部参事、福島社会教育・スポーツ振興課長、各公民館長（※加古川公民館除く）（藤原館長、福本館長、鳥居館長、有原館長、田口館長、竹内館長、日浦館長、山脇館長、前田勝宏館長、前田博之館長、木村館長）、社会教育・スポーツ振興課（岡本副課長、尾崎地域家庭教育係長、三軒主査、藤本主事）
 - 6 傍聴者 0名
 - 7 議事要旨
- 開会 13時55分
委員長あいさつ、教育長あいさつ

（協議事項）

- 1 加古川市立公民館の今後のあり方について
（社会教育・スポーツ振興課より説明）

委員

交通手段について、「バスの運行等の整備」とあるが、可能なのか。

社会教育・スポーツ振興課副課長

直ちに改善できることではないが、改修・修繕の機会に関係機関と調整し、可能な限り実現できるよう努めたい。

委員

東加古川公民館の現地調査に行った際に、地域の方が、学校で実施しているような内容の手伝いをしてくださっていると感じた。公民館で実施している内容を学校で実施し、公民館利用者に手伝いに来てもらうとともに、公民館に行けば教えてもらえるということ子どもたちに知ってもらうために、お互いを上手く利用し、連携できれば良いと思う。学校現場も教えることが増えてきているので、地域の方に教えてもらうことができれば良いと思う。

公民館の倉庫で、ジュニアリーダーの道具が残っているのを見て、これらが使われていた頃の公民館は、すごく楽しく、イキイキとした場所だったと懐かしく思い、その頃の公民館に戻りたいと思った。現在は、利用者の多くが高齢者であり、ほとんど子どもに出会わない。子どもたちが使用でき、活躍できるようなスペースがあることで、若い世代に公民館を知ってもらえるのではないかと思う。現状のままだと、子どもたちが公民館を知らないまま、利用者が減少してしまうことが懸念されるため、今のうちに若い人が公民館に足を運べる仕組みづくりができれば良いと思う。

資料＜社会教育委員会議からの提案＞の図に「人材育成」とあるが、この「人材」は、若い人材であってほしいと思う。

委員

学社融合という言葉思い出した。

委員

多くの事業を実施していく中で、それを指導していく立場の方の育成が必要になっていくと思う。過去には、公民館職員と一緒に事業を実施している印象があった。現在は、少し公民館職員と利用者との間に壁があるように感じる。職員の人材育成や配置人数についてはどのように考えているか。また、過去にはリーダー講習会のようなものがあったが、現在、利用者への講習についてはどのように考えているか。

社会教育・スポーツ振興課副課長

職員の人材育成については、様々な研修に参加してもらい、他市町の職員等から学んだことを周知してもらっている。また、必要に応じて公民館職員の配置人数について検討していきたいと思う。利用者の講習については、講座で学んだことを別の機会に還元するという形をとっている。

委員

公民館職員は、公民館事業を中心にされている印象があり、登録団体等と公民館職員の関係については、希薄になっているように思えるので、もう少しつながりがあっても良いのではないかと思う。また、以前は市から利用者に対して様々な講習の案内があったが、現在は減少してきたように思う。講習の機会を持つことも大切であると思う。

委員

「公民館」という名称に対して堅い印象がある。皆が行ってみたいくなるような名称に変更するのは良い案だと思う。また、ゲストティーチャーやボランティアとして、地域の方が学校の授業等に参加する機会があれば、つながりができると思う。

ある学校では、特別支援学級の子どもたちが野菜を収穫し、先生や親に料理を振る舞うという活動をしている。公民館での営利目的の活動は禁止ということだが、学校や家で採れた野菜の販売ができれば、より活気のある公民館になると思う。また、可能であれば、有料のイベントを実施することで、より盛り上がりのある公民館になると思う。

加古川西公民館長

以前、登録団体の発表会においてフリーマーケットを実施したいとの話があったが、社会教育施設という制約上、実施には至らなかった。しかし、可能な範囲で販売活動ができればという思いもあるので、今後検討していきたい。

社会教育・スポーツ振興課副課長

公民館の調理室で、子どもたちが作った野菜等を使った講座を実施することは可能であると思うので、検討していきたい。

委員

資料<社会教育委員会議からの提案>の図に複合施設型の特徴として、「他施設との連携強化（子育てプラザ、地区集会所、商業施設等）」とあるが、商業施設との連携とはどういうことを想定しているのか。また、「○実現に向けて」で「市民ニーズを把握するために、アンケート調査を実施する」とあるが、未利用者も含むという点を明記した方が良いのではないか。

社会教育・スポーツ振興課副課長

商業施設との連携については、商業施設の一部に公民館が入ることで、人が集まりやすくなること等を想定しており、営利目的の活動を積極的に実施するという事ではない。

委員

尾上公民館で軽トラ市を実施していると聞いたことがあるが、それは営利目的の事業には該当しないのか。

尾上公民館長

尾上公民館横の県民交流広場で実施しているものであり、尾上公民館とは直接関係のある事業ではない。

委員

ヤマトヤシキの中に加古川図書館が入る予定であり、また、すでに子育てプラザも入っている。子育てプラザの職員の話によると、ヤマトヤシキがイベントを実施する日には、子育てプラザの利用者も増えるとのこと。そういうことも参考にできれば良いと思う。

委員

市民が公民館を使ってやりたいことを聞き、反映することが大切であると思う。その際、できないことをできることに変えるためにどうすべきかを検討していけば、公民館の活性化につながると思う。

委員

志方町では、社会教育・福祉教育推進員が秋に文化祭を実施している。以前は3地区（志方中地区、西地区、東地区）分かれて実施していたが、現在は公民館を貸切り、合同で実施している。子どもやその親の参加を促すため、ステージでは子どもが出演する機会を用意し、児童館では幼稚園児・小学生・中学生の作品を展示している。このように、団体の事業の実施場所として公民館を使用することで、公民館を知ってもらう機会となるのではないかと思う。人権フェスティバルでは、子どもたちの作品を中学校に展示しているが、展示期間が短いため、公民館にお願いをし、2～3ヶ月にわたり、作品の展示をお願いしている。作品の展示場所として公民館を使用することでも、人が集まってくるのではないかと思う。

委員

市内12公民館あるが、今後、統廃合等の予定はあるのか。

社会教育・スポーツ振興課副課長

現在、その予定はない。

委員

資料<社会教育委員会議からの提案>の「○実現に向けて」に、「必要に応じ、各公民館の修繕を実施」とあるが、バリアフリー化していくということなのか。

社会教育・スポーツ振興課副課長

築年数が長い館を中心に、改修を行っていく中で、バリアフリー化や地域のニーズに応じた改修を実施していく予定。

委員

その改修は、設備機器についても同様に考えているのか。

社会教育・スポーツ振興課副課長

大きな所についてはその予定である。ただし、直ちに改修・修繕すべきところについては、設備機器においても必要に応じて修繕していきたいと思う。

委員

東加古川・両荘公民館は移転予定とのことだが、その次に建築年度が古い加古川北公民館は、改修等の予定はあるのか。

社会教育・スポーツ振興課副課長

今年度、空調設備の改修を行っている。他の公民館についても、順次改修を行う予定。

2 令和3年度社会教育委員会議について
(社会教育・スポーツ振興課より説明)

(報告事項)

なし

(その他)

なし

- 閉会 14時50分
教育指導部長あいさつ、副委員長あいさつ

以上